

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



第3期市川市教育振興基本計画
～次のような方針を掲げています～

- 方針1** 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 方針2** “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する
- 方針3** 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

令和6年度教育行政運営方針

～新年度の重要な取組の一部を紹介します～

令和6年2月市川市議会定例会において、田中教育長が令和6年度の教育行政運営方針を述べました。令和6年度は、これまでの5年間にわたる第3期教育振興基本計画が終了し、第4期教育振興基本計画が始まる年です。引き続き「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念とし、この計画で新たに示した2つの目指す姿である「互いに認め合い、自分の思いを実現できる子ども」、「誰もが幸せを感じ、ともに学び支え合う、家庭・学校・地域」を実現するため、計画の初年度にあたる令和6年度は、以下の通り教育施策を進めます。

子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進

- ・子どもの特性や学習進度・到達度に応じた授業展開や、探究的な学習に注力します。
- ・学校図書館を活用した読書教育や図書資料の活用を推進し、言語能力を高めます。
- ・包括的な健康教育に取り組み、心身の健康の増進や体力の向上を図ります。
- ・学校給食費の無償、給食の質の維持、給食を活用した食育を引き続き推進します。

学びの質の向上と学びの保障の実現

- ・ICT機器を効果的に活用し、子どもの情報活用能力の向上や教職員の業務の適正化を図ります。
- ・不登校児童生徒が必要とする支援を見極め、学校と家庭、関係部署等との連携を図るとともに、小学校の協力校に校内教育支援センターを開設します。
- ・特別な支援や日本語指導を必要とする子どもへの適切な教育の機会の提供を図ります。
- ・放課後子ども教室の充実や放課後保育クラブの待機児童の解消に努めます。

ともに支え合う学びの環境整備

- ・学校運営協議会や地域学校協働本部の一層の充実と活用を進めます。
- ・地域の身近な学習拠点である、公民館、図書館、博物館の活用を通して、多様な学びの場を提供します。
- ・開館30周年を迎える、中央図書館をはじめとした複合施設である生涯学習センターの一層の利用促進を図ります。
- ・市内の文化財の保護と活用を進め、国府台遺跡において、国庁や国衙の遺構を確認する調査を継続します。

須和田の丘

フェスティバル

☆須和田の丘支援学校☆



「心おどらせ あなたが主役のフェスティバル」というテーマのもと11月2日に行われ、小学部、中学部、高等部の全員が稲越校舎の体育館に集まって、お互いの発表を観合いました。

小学部の発表では、1・2年生が虫になりきってかわいいダンスを、3・4年生は元気いっぱいのフラッグダンスを披露し、5・6年生は心を合わせて「にじいろ」を演奏しました。「自分が楽しむ・一緒に楽しむ姿」から、学年が進むにつれ「友達を意識し、動きを合わせて踊ったり演奏したりする姿」が見られ、学年による子どもたちの成長が感じられました。今年度は、小学部の発表の時に稲越小学校の子どもたちが駆け付け、手拍子で応援してくれ、須和田の子どもたちはとても嬉しそうでした。

中学部は1・2年生による「情熱大陸」の合奏に合わせて3年生がフラッグ演技を、高等部は全学年による身体表現「須和田エイサー ～島人(しまんちゅ)ぬ宝～」を披露しました。どちらの発表も、互いの音を聴き合い、息を合わせて演奏・演技する姿が見られ、団結力と迫力の感じられる素晴らしい発表でした。

11月6日には、須和田校舎で作業製品の頒布会が行われました。今年度は4年ぶりに福祉事業所の参加が可能となり、卒業生も参加して賑やかな頒布会となりました。発表会も頒布会も、これまでの学習の成果が感じられ、一人一人が主役となる素晴らしいフェスティバルとなりました。

【指導課】

特別支援学級を開設

特別支援教育推進に係る環境整備のため、現在、市立学校に知的障がいの特別支援学級を31校、自閉症・情緒障がいの特別支援学級を11校、肢体不自由の特別支援学級を1校設置しています。

個に応じた教育的支援のニーズが高まっていることから、障がい種や地域のバランスを考慮し、令和6年4月より下記の4校に特別支援学級を開設することになりました。【義務教育課】

特別支援学級【知的障がい】

- ◆市川市立鬼高小学校 (所在地)市川市鬼高2-13-5
- ◆市川市立第一中学校 (所在地)市川市国府台2-7-1

特別支援学級【自閉症・情緒障がい】

- ◆市川市立妙典小学校 (所在地)市川市妙典2-14-2
- ◆市川市立下貝塚中学校 (所在地)市川市下貝塚3-13-1



(頒布会の様子)



教育委員交流会



いきいきと学び輝く児童の姿 支え導く教師とともに

教育委員会では、学校の現状や児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握し、市川の教育政策等に反映させていくために、教育委員の方々が学校を訪問し、児童・生徒と交流したり、管理職から学校の様子を伺ったりしています。今年度は、小学校6校、中学校3校に訪問しました。



富美浜小学校では、島田由紀子教育委員が、6年生の学習参観及び給食交流を行いました。この日の給食は、5年生が家庭科の学習で考えた献立でした。

参観では、どの学級も、児童の主体的な学習を目指した学習となっていることが伝わってきました。島田委員からは、「学級内の掲示物等からも、児童一人ひとりが活躍し、それぞれの役割が生かされた学級経営が見えた。」との言葉がありました。また給食交流後には、「先生と児童の言葉のかけ合いや放送がおもしろかったこと」、「将来の夢を聞かれ、聞いてくれた児童の夢も教えてもらったこと」、「放送委員の児童が帰ってきてたくさん話してくれたこと」などから、「児童が楽しそうに過ごしていますね。」というお言葉がありました。

児童の気持ちのよいあいさつや、地域の方がきれいにしてくださっている花々が印象的な学校でした。



新井小学校では、山元幸恵教育委員が、あゆみ学級(特別支援学級)の図画工作科(クリスマスランタン作り、クリスマスツリー作り)の時間を参観しました。

クリスマスランタンの台紙を作る手順を聞いた児童は「難しそうだね!!」とっていました。しかし、その表情からはとてもワクワクしている様子が伝わってきました。

台紙に貼るイラストの色ぬりの際には、担任の先生から「急がなくていいよ。白い所がないように!見本をよーく見てね。」という声かけがありました。何気ない言葉に聞こえますが、普段の生活や学習につながる大事な要素が含まれているとのことでした。

山元委員は、児童が自分で一つ一つ作業を進めていく様子を温かく見守っていたらっしゃいました。

また参観後には、「児童が落ち着いており、安心して過ごせる環境や、先生方の細やかな配慮を感じた。」との言葉がありました。



【教育センター】

コミュニティクラブの活動に遊びに来ませんか?

コミュニティクラブでは、「みんなで子どもたちを みんなでボランティア」を合言葉に、遊びを通じて子どもたちの健全育成、地域のコミュニティづくり、生涯学習社会の創造を目的としています。中学校の学区を基に分けた市内の16ブロックで、ボランティアの方々が地域の特性や専門性をいかして様々な活動を行っています。

下記の写真は、第六中ブロックコミュニティクラブで行われた科学教室の様子です。熱の力でふわりと浮き上がる熱気球に、子どもたちからは歓声が上がっていました。他にも将棋教室や茶道体験などの屋内活動や、ウォークラリーやキャンプなどの野外活動、自由に自分たちで遊びの内容を決められる遊びの広場等、たくさんの活動があります。各ブロックごとの活動については、市公式Webサイトの「遊びの情報」をご覧ください。

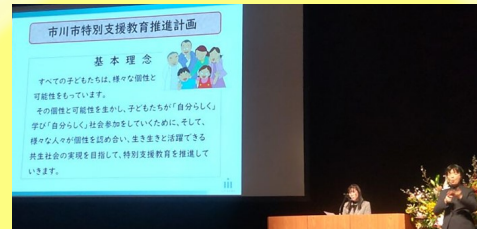
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu10/1111000001.html>

コミュニティクラブでは、活動の企画・運営や、当日のお手伝いをしていただくボランティアの方々が募集しています。子どもたちと年齢の近い、中・高・大学生の方々が大歓迎です。学生の方には、「ボランティア活動証明書」を発行します。ボランティアをしてみたいと思う方は、学校地域連携推進課までご連絡ください。

【学校地域連携推進課】



第26回市川市特別支援教育振興大会



「『自分らしく』学び『自分らしく』社会参加するために」を大会主題に、1月25日市川市文化会館小ホールにて開催されました。本大会は、広く一般市民や保護者に特別支援教育の理解・啓発を図ることを目的として、隔年で開催されています。基調報告の後には、県立市川特別支援学校高等部の音楽部、ダンス部の生徒による発表がありました。トーンチャイムや電子ピアノのゆったりとした演奏、楽しさを全身で表現したダンスの他、生徒が様々な楽器を弾く姿がスクリーンに映されました。日々の学習の成果や学校生活の様子が伝わり、発表後の会場は温かい拍手に包まれました。

一般社団法人ル・ミストラル代表理事大橋恵子氏による「豊かな人生の追求～親も子も自立をめざして～」と題した記念講演では、「人生は判断の連続であり、必然的に判断する場面を作ることが大切である」

「自立は、親も子も依存先を増やすことである」などについて、グループホームでのエピソードを交えながら、ご講演いただきました。アンケートでは、「講演の内容が心に響き、参加できてよかった。」「未来について、明るく豊かに生きることについて考える機会になった。」などの声をいただき、大変好評でした。

【指導課】



市川市立若宮小学校
特別支援学級児童作品



教育功労者表彰

~Congratulation~

教育功労者の表彰は、教育、学術又は文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人または団体を表彰するものです。
受賞された皆様、おめでとうございます。【教育総務課】※敬称略

千葉県教育功労者(学校教育の部)

石井 辰治	市川市立八幡小学校 校長
河部 純	市川市立幸小学校 校長

千葉県教育功労者(学校保健の部)

石森 義郎	市川市立塩焼小学校 学校医
-------	---------------

市川市教育委員会教育功労者

白井 久美子	市川市博物館協議会 委員長
小籠 宏	市川市立市川小学校 校長
野口 敏樹	市川市立妙典小学校 校長
新部 操	市川市立第四中学校 校長
河合 滋	市川市立第七中学校 校長
岡 良和	市川市立第八中学校 校長
椎名 美幸	市川市立須和田の丘支援学校 校長
清水 勤也	市川市立中山小学校 教諭
伊藤 園江	市川市立須和田の丘支援学校 学校医
菊池 裕	元市川市立第六中学校他 学校医
大谷 洋昭	市川市立行徳小学校 学校歯科医
唐木 奈保子	市川市立大野小学校他 学校薬剤師
松丸 陽輔	市川市立第三中学校ブロック地域学校協働本部 統括的な地域学校協働活動推進員

教育実践記録論文



教育実践記録論文「いぶき」は、教育実践をまとめることが自己研鑽となり、教職員の資質・能力の向上につながるとして、昭和54年に始まり、今年度で45年目となります。

今年度は、一般部門14編、フレッシュ部門3編の合計17編の応募がありました。どの論文も、今日的教育課題に真摯に向き合い、子どもたちの成長を目指して取り組んだ先生方の熱意が感じられるものでした。今年度の「教育実践論文表彰式・発表会」には、研修の一環として4年ぶりに2年目教諭の方々も出席しました。若年層をはじめ、市内の先生方と優れた実践を共有し、教職員の資質・能力の向上に寄与したいと考えています。【教育センター】

賞	学校名	氏名	分野	テーマ	
一般部門	最優秀賞	新浜小 南行徳中	比留間 千夏 野口 由紀子	特別支援教育	自閉症・情緒学級、通級指導教室の地域交流 ～自立活動における小中連携の進路選択学習～
	優秀賞	富貴島小	西村 敦子	外国語	母語でなくても児童が自信をもって言語活動を行うことを目指して ～スピーキング技能育成への取り組みと、生きたやり取りを実現するための工夫～
	優秀賞	大和田小	竹内 奏恵	特別活動	特別活動で培う「学びに向かう力」の育成 ～友だちと一緒に伸びる喜びを得ながら・・・自分大好き!～
	優秀賞	須和田の丘 支援学校	川畑 聡美 櫻井 健弘	特別支援教育	今伝えたい!自立活動の視点 ～担任を支える特別支援教育コーディネーターと理学療法士～
	優良賞	市川小	石原 朝子	その他	不祥事根絶に向かう意識の醸成 ～「見られている緊張感・見守られている安心感」をキーワードに～
	優良賞	市川小	熊谷 和修	その他	ミドル教員をサポートする校内体制に関する一考察 ～ミドルミーティングの活用を通して～
	優良賞	第四中	佐藤 雅秀	人権教育	児童生徒の人権意識を高める指導法の工夫 ～「主体的・対話的で深い学び」につながる学習形態の工夫を通して～
	奨励賞	富美浜小	石原 利江子	特別支援教育	スモールステップでいっばい輝ける特別支援学級 ～自立を目指して、壹歩善心～
	奨励賞	富美浜小	犬飼 あゆみ 森実 佳代子	健康・福祉教育	Microsoft Formsを活用した「ノーメディアデー」の取り組み ～自らすすんで健康について考えられるふみはまっこの育成～
	奨励賞	富美浜小	森岡 歩美	学年学級経営	学級経営における学級通信の役割 ～子ども達と家庭と担任が繋がる通信を目指して～
	奨励賞	第二中	山形 大樹 伊東 真里 太田和 亜弓	国語	協働学習を取り入れることで視野をひろげ思考力を深める学習の試み ～自らの立場を明確にし、表明できる作文学習～
	奨励賞	妙典中	佐久間 彩音	保健体育	「多様性を認め、自他の生命を尊重することができる人」の育成 ～養護教諭が行う保健学習「身体機能の発達」「生殖に関わる機能の成熟」を通して～
	奨励賞	行徳小	小野 貴仁	国語	「子供視点に立った」授業実践モデルプログラム 国語科文学編 ～教える授業から学ぶ授業への転換～
	特別賞	市川小	小籠 宏	学校経営	夢の実現に向けて行動する子供の育成を目指して ～コロナ禍における「夢の実現に向けて行動する子供の育成」に向けた取り組み～

賞	学校名	氏名	分野	テーマ	
フレッシュ部門	優良賞	大洲小	原田 敦俊	保健体育	わかる・できる 体育学習 ～主体的・対話的で深い学びを通して～
	優良賞	大洲小	田浪 侃歩	学校図書館	「行きたい!使いたい!」学校図書館 ～児童の読書意欲の向上を目指して～
	奨励賞	大町小	植村 樹	学年学級経営	落ち着いて話を聞くことのできる児童の育成を目指して ～話を聞く習慣の付け方、わかりやすい指示の出し方の工夫・改善について～

小中一貫型小学校・中学校の教育

「東国分爽風学園」、「信篤三つ葉学園」の取り組み

「小中一貫型小学校・中学校」は、正式な学校名や校舎などを変えることなく、義務教育学校に準じた形で義務教育9年間を一貫した教育ができる学校です。今年度の主な取り組みについてご紹介します！
【学校環境調整課】

今年度で2年目となる**信篤三つ葉学園**では、小学校同士の交流活動や小中の連携活動を主に進めました。

小学校同士の交流活動では、わが町・未来探究科で「地域の環境」についての学習をまとめたリーフレットを、オンラインで発表し合う活動等を行いました。



6年生による高谷中学校授業見学の様子

小中の連携活動では、高谷中の部活動見学会や授業見学会、特別支援学級の交流学习等を行いました。また、中学校の教員が小学校に出向き、小学生の体育の「ボールの投げ方」、図画工作の「人物の描き方」、国語の「哲学対話」の授業等を行いました。哲学対話の授業を受けた児童からは「友達の意見を聞いて、自分では発言できなかったことがいっぱい出てくることが学び合いのよさだと思った。」などの感想がありました。信篤三つ葉学園では、小学校同士の交流や小学校と中学校の連携を深める取り組みを進めています。

今年度で3年目となる**東国分爽風学園**では、新しい教科「ふるさと探究科」の取り組みや、小学校同士の交流活動、小中の連携活動を進めてきました。

ふるさと探究科の取り組みとして、小学校では、地域の課題等とSDGsを関連させた学習を通して、中学校は、キャリア教育や校外学習等の際に10代向けの映像教材などを活用した学習を通して、「探究的な学習」に取り組んでいます。



曾谷小学校・稲越小学校の合同校外学習の様子



小学校同士の交流活動では、2校の3年生による合同校外学習を行いました。昼食の時間から交流がスタートし、お弁当を食べた後、博物館を見学しました。幼・保育園で一緒だった友達との再会を喜び、はじめて顔を合わせた児童も、徐々に慣れ親しんで会話を楽しみながら、交流を深めていました。

小中の連携活動では、3校合同の職員研修、中学校の教員による小学校での算数の授業、小学生を招いた中学校見学会、中学校の生徒会と小学校の代表委員会とのオンラインによる顔合わせや児童生徒が発案したあいさつ運動、いじめをなくすブルーリボン運動等の活動を行いました。東国分爽風学園では、児童生徒が主体となる取り組みを進めています。

家庭教育学級

「みんな同じことで悩んでいると思い、気が楽になった。」
「話を聞いてもらえて良かった。」
「ネットで何でも調べられるけど、実際に生で聞く情報は頭にも心にも残るので、参加して良かった。」これらは、今年度の家庭教育学級に参加された方々からの感想の一部です。
『家庭教育学級』は、講師の話を一方向的に聴くだけでなく、参加者同士で子育ての不安や悩みを共有したり、情報を交換したりすることが魅力の一つです。
コロナ禍によるICTの浸透により様々な面でデジタル化が進み、便利になる一方で、人間関係の希薄化が叫ばれている現代において、『家庭教育学級』では、次年度も「人と人とのつながり」に重点を置きながら活動を進めてまいります。 【学校地域連携推進課】



行徳小学校でのドライフラワーづくりの講座の様子



富貴島小学校での講座の様子

『家庭教育学級』に気軽に参加し、学び合い、つながりましょう。
子どもたちを「みんな」で育てていきましょう。
すべては子どもたちのために。

お子さんに関するご相談はこちらへ

◆教育相談
面接予約 ☎ 320-3336(教育センター)
面接予約 ☎ 318-3223(行徳相談室)
【火～土曜日(9:00～17:00)】



3歳以上の幼児・小中学生の子育てをする中で生じる様々な悩みに関する相談をお受けします。(予約制)

◆ほっとホット相談室
電話相談 ☎ 320-3362
【火～金曜日(12:30～17:00)】



不登校や子育てについての相談をお受けします。

◆少年センター
電話相談・面接予約 ☎ 320-3340
【月・火・木・金曜日(9:00～17:00)】
【水曜日(9:00～19:00)】
メール相談 : youngnet@city.ichikawa.lg.jp

小学生から19歳までの本人や保護者から様々な悩みの相談をお受けします。